

04月22日(土)開催 第3225回例会  
兵庫県山岳連盟同調

裏六甲の静かな春を訪ねる②

「清水谷から社家郷山～樫ヶ峰へ」

保久良支部 小堺 忠史

4月22日、兵庫県山岳連盟との同調企画「清水谷から社家郷山～樫ヶ峰へ」が行なわれた。吉野名誉会長が委員長を務められている、岳連普及委員会の今年度最初の企画で、環境省の中村アクティブレンジャーにもご参加頂き、又、今年度から新しく岳連理事になられた坂田新理事とともに静かな裏六甲の春を訪ねた。事前の案内では、午前8:00 阪急宝塚駅集合となっていたが、吉野名誉会長のご判断で7:30 集合となり、内心早いなぁと思いつつもそこはサラリーマンの小生、従順に対応し、移動の電車で名誉会長とお会いし、お待ち頂くことなく、ほっと胸をなで下ろす。7:10 宝塚駅着。30分集合時間を早めたことで、無事全員乗車でき、計画通り船坂バス停に到着出来た。



修理に手を入れる様子がみられる文化財的な古民家

船坂バス停近くで、コースの説明、柔軟体操を行い出発。ほどなくして茅葺屋根の古民家を通過。今回のコースは、その昔、有馬へものを運ぶ際に、通行税を払いたくないため、抜け道的にできた山道とのことであった。いつの時代も 払わずに済むものは払いたくないものである。

山道に入り、清水谷道を抜け、縦走路(船坂峠)へ到着。小休止。

小生、船坂峠は、六甲縦走の終盤であり、又、毎年、神戸市の六甲山縦走のボランティアで待機する地点で、あまり良い思い出がなかったが、北斜面からの風は冷たいものの今回は春先の気候の中、早い時間に体力十分歩くと、穏やかな気持ちで縦走路を楽しむことができた。



縦走路で「竜木」と親しまれている枯れ木の前で

大平山も同様で、六甲縦走で幾度も通過するも、今回、初めて大平山の山頂を訪れた。

山頂には三角点もあり、ただの電波塔の山との誤った認識を改めさせられた。そしてここで、環境省の中村アクティブレンジャーより「国立公園」についてのご説明を頂いた。



中村レンジャーのお話



大平山の三角点

国立公園とは、自然公園法により指定され、国立公園内では、自然環境や景観に影響を与え

る行為の規制が行われるとともに、歩道や施設の整備、環境省のレンジャーと呼ばれる環境省職員が管理に携わっておられます。六甲山系は瀬戸内海国立公園に属しています。国立公園では動植物の採取も規制させていますので、草花、昆虫などの採取は謹んで頂きたい。



大平山を出発し、小笠峰、社家郷山を経て檜ヶ峰を快調に登頂。道中、整備された歩道を爽やかな春先の日差しの中、これまで知らなかった裏六甲路を満喫できた。



東六甲山地の前山となる社家郷～檜ヶ峰（馬の背にて）

登山口のバス停で解散となったが、保久良のメンバーは逆瀬川沿いを歩き、逆瀬川駅近くの中華屋で、ほろ酔いセットにてほろ酔いで心地よい疲労とともに無事帰宅。お疲れ様でした。

天 候 晴 れ 参 加 者 27 名